

—竹芝干潟の整備・市民協働の取組—

2022年10月7日
一般社団法人竹芝タウンデザイン
(東日本旅客鉄道株式会社)

当資料の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。



はじめに

1. 一般社団法人竹芝タウンデザインとは
2. ウォーターズ竹芝のご紹介
3. 竹芝干潟について
4. 竹芝干潟の取り組み

SDGs × JR東日本グループ ウォータース竹芝で水辺をいかしたまちづくり

「竹芝干潟」における環境再生・環境学習の取組み



1. 一般社団法人竹芝タウンデザインとは

(1) 概要

一般社団法人

竹芝タウンデザイン

takeshiba towndesign

【名称】

一般社団法人竹芝タウンデザイン

【設立目的】

水辺やウォータース竹芝を中心としたまちづくりを主体的に推進する
タウンマネジメント組織として設立。

【設立日】

2019年8月1日 ※ウォータース竹芝の開業は2020年度

1. 一般社団法人竹芝タウンデザインとは

(2) 主な活動内容

① 地域連携

地域全体や周辺関係者との連携

(防災・にぎわい・観光・産官学連携 等)

- ・地域イベントへの参加
- ・防災連携
- ・芝商業学校、海洋大学 連携



② 水辺利活用

水辺の利活用による、にぎわい創出・魅力向上

- ・船着場・干潟運営
- ・舟運・アクティビティ企画
- ・環境教育コンテンツ企画



③ イベント実施

地域ブランディングに資する、空間装飾・イベントの実施

- ・シーズンテーマ設定と空間装飾・イベントの実施
- ・外部主催の地域活性化イベント実施



④ 広告・スペース事業

広告媒体やスペースの活用



⑤ 情報マネジメント

一貫的情報発信・マネジメントによるエリア全体のカラー・認知度・魅力向上と来街促進

- ・統一的ネーミング
- ・HP・SNS・リーフレット
- ・アンケートの実施 等



公式ホームページ

2. WATERS takeshibaのご紹介



2. WATERS takeshibaのご紹介

(開発前の現地)



2. WATERS takeshibaのご紹介

(1) 概要

歴史ある浜離宮恩賜庭園の豊かな緑、東京湾の海風等の自然環境を感じられるテラスをまとった象徴的なデザイン

【全体概要】

敷地面積：約23,000㎡

延床面積：約102,600㎡

建物構成：タワー棟、シアター棟
パーキング、自由劇場

竹芝駅

浜松町駅

【タワー棟】

劇団四季「春」「秋」

【パーキング】

劇団四季自由劇場

【シアター棟】

船着場・干潟



2. WATERS takeshibaのご紹介

(2) 施設構成

劇場 「JR東日本四季劇場[春][秋]」



オフィス



ホテル メズム東京、オートグラフ コレクション



商業施設 アトレ竹芝



2. WATERS takeshibaのご紹介

(3) 船着場・干潟の整備



- 2020年6月19日 定期航路船運航開始
- 2020年7月13日 羽田空港アクセス船運航開始
- 2020年12月5日 ナイトクルーズ船運航開始

An aerial photograph of a modern city skyline. The central focus is a tall, curved skyscraper with a blue-tinted glass facade. To its right is a large, multi-story building with a dark, sloped roof and a modern architectural style. In the foreground, a river flows through the city, with several white and red tour boats docked at a pier. The sky is blue with scattered white clouds. The overall scene depicts a vibrant, urban environment.

竹芝干潟について

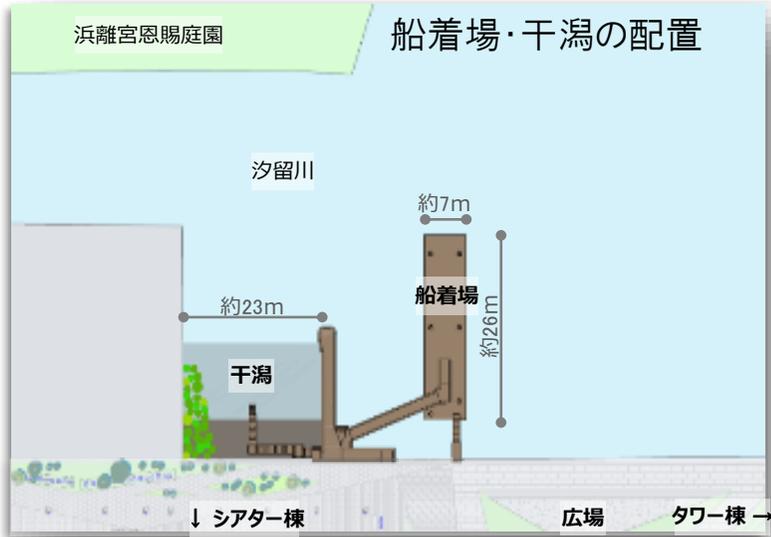
3. 竹芝干潟について



竹芝地区船着場
(ウォータース竹芝前)
竹芝干潟

3. 竹芝干潟について

(1) 水辺の特徴



計画対象地は、港湾ではなく 河川（汐留川） ※ に面している

※二級河川、港区管理

(2) 拠点性

- ① 陸の動脈と 水の動脈の 結節点
- ② 羽田空港・浅草エリアの中間点
- ③ 伊豆七島の玄関口

(3) 希少性

- ① 防潮堤のある水域
- ② 安定した内水面
- ③ 多様な生態系

3. 竹芝干潟について

(4) 竹芝の水辺に生息する水生生物

絶滅危惧種Ⅱ類

ミミズハゼ

準絶滅危惧種

アベハゼ、ヌマチチブ、ビリンゴ、

留意種

チチブ、ケフサイソガニ、シラタエビ、ユビナガスジエビ



ミミズハゼ



アベハゼ



ケフサイソガニ



ユビナガスジエビ

(5) 竹芝の水辺に生息する鳥類】



マガモ



カルガモ



カワウ



オオタカ

3. 竹芝干潟について

(6) 概要と整備の方法

竹芝地区の魅力向上のために、船着場と干潟を整備



竹芝地区船着場（ウォーターズ竹芝前）



竹芝干潟



3. 竹芝干潟について（船着場・干潟のビジョンと利活用方針）

ビジョン・ミッション

竹芝地区の利用者の利便性向上と水に親しむ体験機会の創出
世界都市東京の魅力の向上と新しい価値の世界への発信

利活用方針

1. 舟運の活性化

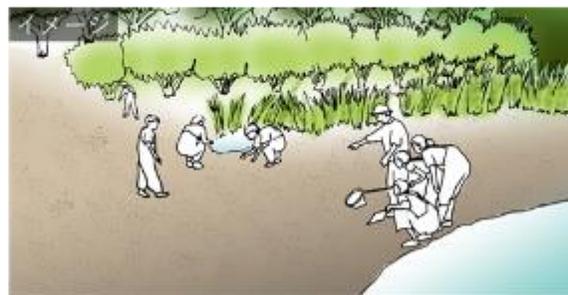
小型船から大型船まで民間事業者が利用しやすい棧橋を提供し、舟運の多様な利用を具現化させ、東京の水辺拠点としての竹芝地区の魅力を高めます。



観劇や宿泊とセットになった舟運や、他の交通との連携によるエリアの利便・回遊性の向上

2. 環境再生・学習の場づくり

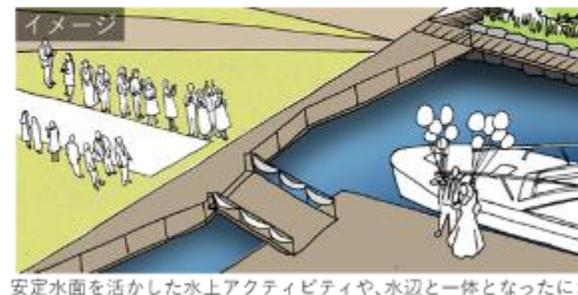
人にも生物にもリラックスできる親水空間を提供。「東京湾のゆりかご」としての干潟の環境を保全・再生し、世界にアピールします。



生物多様性を活かした環境保全・再生活動と、学習機会の提供。教育・研究機関と連携した、SDGsとしての象徴的拠点形成。

3. にぎわいの創出（アクティビティ・エンターテインメント）

山手線至近のアーバンネイチャー立地を活かし、水上アクティビティや、水辺の開放感あふれる場でのエンターテインメントを通じた、新たな体験価値を提供します。



安定水面を活かした水上アクティビティや、水辺と一体となったにぎわい施設（劇場・商業・広場等）及び周辺施設・イベント（竹芝夏ふえす等）と連携したエンターテインメントによるエリアの賑わい創出

4. 竹芝干潟の取り組み



2020/7/18干潟びらき 芝商業高校2年生（26名参加）

4. 竹芝干潟の取り組み

環境教育

干潟オープンデイ

ハゼ釣り体験など

干潟部

海ごみゼロウィーク参加

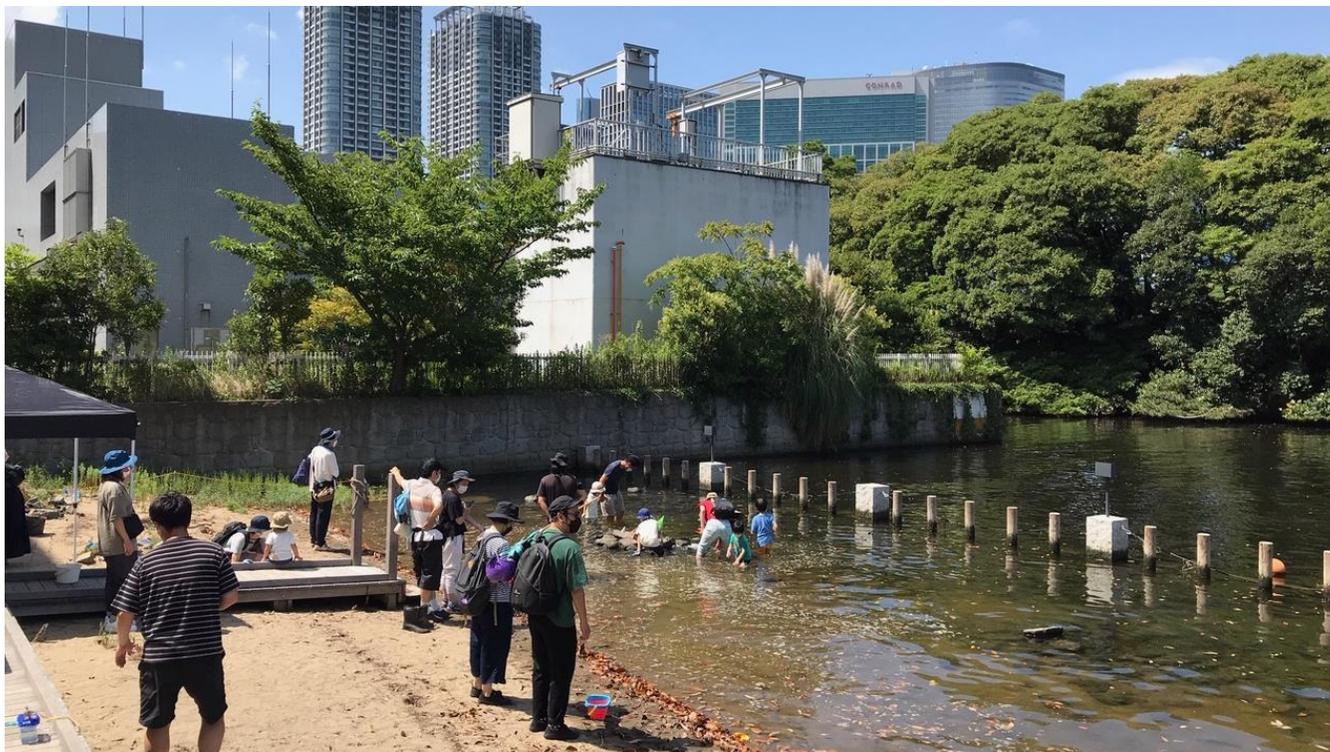
地域のみなさま

小学生～

学生

地域のみなさま

自然を身近に感じられる場を定期的に提供。
継続して訪れることにより、環境の変化への
気づきを促す。
スタッフによる、生きものの説明なども実施。



4. 竹芝干潟の取り組み

環境教育

干潟オープンデー

ハゼ釣り体験など

干潟部

海ごみゼロウィーク参加

地域のみなさま

小学生～

学生

地域のみなさま

イベント等を通じて、水辺の楽しみ方を学ぶと同時に、



4. 竹芝干潟の取り組み

環境教育

干潟オープンデイ

地域のみなさま

ハゼ釣り体験など

小学生～

干潟部

学生

海ごみゼロウィーク参加

地域のみなさま

干潟について学ぶと同時に、
環境とどのように結びついているのか学ぶ。

干潟楽しいじゃん！！ 芝商業高校 干潟部結成へ！

2021年度 22名入部！（1～3年生）



4. 竹芝干潟の取り組み

環境教育

干潟オープンデイ

地域のみなさま

ハゼ釣り体験など

小学生～

干潟部

学生

海ごみゼロウィーク参加

地域のみなさま

一人ひとりの行動が、海の未来を守ることに
つながることを理解し、アクションすること
の大切さを学ぶ。



4. 竹芝干潟の取り組み

環境再生

干潟マイスター講座

干潟シンポジウム

小学4年生～

干潟マイスター

干潟の面白さを基本から学び、自然再生取り組みを実際に行う。また、経過観察も実施（フォローアップ）。



ハートの潮だまり



粗朶作り



蟹のマンション作り



卒業

4. 竹芝干潟の取り組み

環境再生

干潟マイスター講座

干潟シンポジウム

小学4年生～

干潟マイスター

干潟の面白さを基本から学び、自然再生取り組みを実際に行う。また、経過観察も実施（フォローアップ）。



①自然再生取り組み

潮が引いても魚が干潟に残ることができるタイドプール（潮溜まり）の造成。

2020年は、潮だまりを泥船で設置

→約10か月後 アベハゼなどハゼ類が多く生息していた。しかし水質の改良が必要。

2021年は、潮だまりを防水シートを敷いて造成

→生きものはいるが、想定より少ない。
より長い時間潮だまりができるよう改良が必要。



②自然再生取り組み

流木と石で守られた、陸生のカニの棲家になる砂山の造成。

→2020年度…潮の満ち引きで消失

→2021年度…消失はしなかったが、中々カニが定着せず。

4. 竹芝干潟の取り組み

環境再生

干潟マイスター講座

干潟シンポジウム

小学4年生～

アドバイザー・
干潟マイスター

干潟の変化について、アドバイザーや干潟マイスターの立場から発表し、環境再生の取組みについて広く周知。



4. 竹芝干潟の取り組み

竹芝干潟アドバイザーリーボード

①活動内容

●竹芝干潟における活動ビジョン項目「環境再生」「環境教育」を軸に、以下方針について月1回会議を開催。活動結果を持ち寄り、PDCAをまわしながら取組施策に活かしている。

- ・竹芝干潟の運営方針
- ・竹芝干潟の環境再生方針
- ・竹芝干潟の調査、研究方針
- ・竹芝干潟の環境教育、活動プログラム方針

②アドバイザーメンバー



(株)水辺総研
取締役
滝澤 恭平氏



東京海洋大学
教授
佐々木 剛氏



海辺つくり研究会
理事長
古川 恵太氏



ココペリプラス
代表
寺田 浩之氏



箱根植木(株)
前田 瑞貴氏